

《 フラスチックの色堅ろう度試験のご案内 》

一般財団法人日本文化用品安全試験所大阪事業所では「JIS K7102 着色プラスチック材料のカーボンアーク燈光に対する色堅ろう度試験方法」に基づいた試験を行っています。

各種プラスチック素材は様々な用途で使われていますが、屋外で使用される商品などでは、日光にさらされることで、変色や退色が起こってしまうことがあります。

新しい製品開発や、既存製品の耐光性を調べる手段としてぜひ、ご利用くださいます様、お待ちしております。

● JIS K7102 色堅ろう度試験

試験分類	試験概要
A法	ブルースケールを用いて色堅ろう度を評価します
B法	変退色用グレースケール(又は測色計)で色堅ろう度を評価します
B-1法	所定の時間照射後の変退色を変退色用グレースケール(又は測色計)で色堅ろう度を評価します
B-2法	所定の変退色に達するまでの照射時間によって色堅ろう度を評価します。

JIS K7201 では光源として紫外線カーボンアーク燈式耐光試験機、紫外線カーボンアーク式耐候試験機、サンシャインカーボンアーク燈式耐光性試験機の3種類が規定されています。
当試験所では紫外線カーボンアーク燈式耐光試験機による試験に対応しています。

尚、紫外線を照射する時間(試験時間)、試験温度等につきましてはご相談の上、決定させていただきます。お気軽にご相談ください。

検査費用は試験時間により変わります。大阪事業所 化学分析部までお問い合わせください。



耐光試験機



変退色グレースケールによる判定



変退色用グレースケール

お問合せはこちらまで

一般財団法人 日本文化用品安全試験所



大阪事業所 化学分析部

TEL 072-968-2228

E-mail : kagaku-osaka@mgsl.or.jp